

医療タイムス

週刊医療界レポート

2013.6/17 No.2113

特集

サービス付き高齢者向け住宅の医療連携 地域医療の中核施設としても期待



タイムスインタビュー

どん底の精神状態で
見つめ直した医師の原点

ベトナム国立眼科病院
客員教授
網膜硝子体手術指導医

服部匡志氏（後編）

ケーススタディ経営改革力

機能ポジション、規模の利益、差別化、集中
経営改善や医療の質向上のための取り組み

弁護士、医師、医学博士、中小企業診断士、MBA、AFP 簗本恭明氏

Top News

社会保障費「聖域とせず見直す」 政府
認知症高齢者、462万人 厚労省

60年の歴史を共有し、さらにグループの結束力を強める 健育会グループが2日間にわたり記念パーティ開く

医療法人社団健育会（竹川節男理事長）を中心とする健育会グループは、5月18、19の両日、文部科学相で衆議院議員の下村博文氏、衆議院議員の勝俣孝明氏、歌舞伎役者の坂東三津五郎氏、プロバスケットボールの折茂武彦氏を招き、同日開催されたグループが協賛しているコンサート会場の東京国際フォーラムで60周年記念パーティ「60年の軌跡、そしてこれから」を開いた。延べ300人の職員も参加し、60年の歴史を共有するとともに、グループの結束力をさらに強めた。



健育会グループの病院・施設に長く勤めている職員が代表してステージから「Vision & Work Together!」と掛け声を発し、皆で集合写真を撮影した。心が1つになった瞬間だ

健育会グループは、初代理事長の竹川不二男氏が1953年、東京都板橋区に設立した竹川病院から始まり、現在では7病院、入所型介護施設7カ所、通所型介護事業所33カ所を有する。竹川節男理事長は記念パーティで、「健育会グループはいろいろな方々に支えられて歩んできた。職員の皆さんにはこの歴史観を是非共有してほしい」とあいさつ。健育会グループの歴史の映像を上映し、それぞれの病院の歴史を補足した。また、竹川理事長は「歴史観を共有している組織は、ピンチをチャンスに変えていける、ブレない強い組織だと考えている」とし、石川島記念病院の新築、石巻港湾病院の移転、介護施設の新規計画などを話し、「これらの計画を成功させる

ためにも、さらに強い結束力あるグループにならない」と呼びかけた。

健育会グループでは60周年を記念して葉加瀬太郎氏に「健育会グループの曲」の作曲を依頼。60周年のスローガン「Vision & Work Together!」をモチーフにした「Together We Walk」（共に歩こう）というタイトルの曲がこの日披露された。パーティの総合プロデューサー・司会は、竹川理事長と10年来の付き合いがあるフリーアナウンサーの生島ヒロシ氏が務めた。

パーティの後はグループが協賛している「Live image 13 treize」のコンサートを全員で楽しんだ。



「健育会グループ 3000 人の職員が歴史観を共有し、1つの和となり、その和をさらに大きくしていくことが私の役割」と語った竹川節男理事長

「これから」の話として竹川理事長があいさつで述べた健育会グループの新たな計画の数々



石川島記念病院新築計画



介護老人保健施設新規開発計画



石巻港湾病院新築計画

健育会グループの概要

本部 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-18 TEL03-3233-1105 (代) URL www.kmcb.or.jp

医療法人健育会：竹川病院、熱川温泉病院、西伊豆病院、石巻港湾病院、石川島記念病院、土肥クリニック、介護老人保健施設しおさい、ケアセンターけやき、介護老人保健施設しおん

医療法人常磐会：いわき湯本病院

医療法人喬成会：花川病院、ふれあいクリニック、介護老人保健施設オアシス21、グループホーム延齢草

社会福祉法人不二健育会：介護老人福祉施設ケアポート板橋、グループホームかもめの家
株式会社ヘルスケアシステムズ：介護付有料老人ホームライフケアガーデン熱川、介護付有料老人ホームライフケアガーデン湘南

※在宅支援事業も数多く展開



創立 60 周年を迎え、独自のマネジメントスタイルが確立しつつある健育会グループの歴史をまとめた「健育会グループ 60 年の軌跡、そしてこれから」



健育会グループ病院の1つ、静岡県賀茂郡東伊豆町にある熱川温泉病院（田所康之院長）は、豊かな自然に囲まれた伊豆熱川で、良質な温泉を生かして、医療、介護、リハビリテーションを提供する病院。不定期で発行している情報誌「Kurort」（A4判オールカラー）では、伊豆熱川の魅力とともに同院の特徴を紹介している。